

あなたと議会のふれあい誌 伊奈町

第204号

議会だより



令和6年 6月定例会

- ◆議案概要等・審議結果…P2・3
- ◆常任委員会概要…P4・5
- ◆一般質問…P6~14

南中学校校舎 トイレ等改修工事

契約額 **1億6,830万円**

問 伊奈町立南中学校の校舎トイレ等改修工事については、入札の結果、1億5300万円（税抜き）で落札された工事請負契約です。

答 伊奈中学校の校舎トイレ等改修工事と比較して金額が891万円高くなった理由は、物価高や人件費が高くなったこと、伊奈

中学校と比較し、工事の箇所数や面積などに若干の違いがあるため、和式から洋式に変わるトイレもあるのか。

答 現在の和式が全て洋式となり、多目的トイレと来賓用トイレを追加し、全49基となる。

町道7号線 舗装打ち替え工事

契約額 **7,458万円**

問 志久駅から日本薬科大学を通って上尾方面へ抜ける町道7号線の、昨年度に続く残り半分476mの工事請負契約です。

答 入札参加、応札業者数は、6者で実際に入札したのは5者だった。

問 町内外の別は、上尾市の業者が1



者、残りは町内業者であった。

問 落札率はどうか。

答 96・14%だった。

6月定例会は6月4日から6月18日まで15日間開催されました。開会日には、4月21日執行の町長選挙で再選した町長の所信表明が行なわれました。

町長提出の11議案（うち2議案は専決処分の承認を求めるもの）、報告1件、諮問1件を審議しました。

〈6月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出議案	人事 諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ・人権擁護委員の永田康子氏が令和6年12月31日で任期満了となるため、後任として田井文子氏を推薦することについて意見を求めるもの。	全会一致	適任
	専決 第29号 議案	専決処分の承認を求めることについて（伊奈町税条例の一部を改正する条例） ・地方税法等の一部改正により、定額減税実施に係る規定、固定資産税における一定のバイオマス発電設備についてわがまち特例の規定を新設。	全会一致	承認
		第30号 議案	専決処分の承認を求めることについて（伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） ・地方税法施行令の一部改正により、国民健康保険税の賦課限度額の見直し及び低所得者の保険税軽減措置の対象拡大による改正。	全会一致
	補正予算 第31号 議案	令和6年度伊奈町一般会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各8,079万4千円を追加し、補正後総額を158億4,487万9千円とする。歳入では、国庫補助金、財政調整基金繰入金、諸収入及び町債の増額。歳出では、志久駅バリアフリー化、税務証明書コンビニ交付サービス導入、児童手当システム改修、新型コロナウイルスワクチン定期接種、校内教育支援センター支援員配置、埋蔵文化財発掘調査報告書作成の増額。	全会一致	原案可決
		第32号 議案	令和6年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） ・歳入歳出各283万7千円を追加し、補正後総額36億1,922万5千円とする。国保加入者情報に係るシステム改修費の増額。	賛成多数 (注)
	条例 第33号 議案	伊奈町手数料条例の一部を改正する条例 ・個人番号カードを利用し、コンビニエンスストア等において、町民税の課税に関する事項又は所得に関する事項の証明書を交付する場合の手数料を改正。	全会一致	原案可決
		第34号 議案	伊奈町放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例 ・児童クラブの運営に指定管理者制度を導入するため、指定管理者による管理や業務の範囲等の規定を新設。	賛成多数 (注)

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出議案	条例	第35号議案 伊奈町介護保険条例の一部を改正する条例 ・伊奈町介護保険条例の一部を改正する条例の低所得者に係る減額前の保険料額の誤りを改正。	全会一致	原案可決
		第36号議案 伊奈町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 ・国の省令の改正により、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正。	全会一致	原案可決
	契約	第37号議案 工事請負契約の締結について（第2調整池浚渫工事） ・第2調整池浚渫工事の請負契約を一般競争入札の結果、株式会社東栄と3億2,868万円で締結。	全会一致	原案可決
		第38号議案 工事請負契約の締結について（町道第7号線舗装打ち替え工事） ・町道第7号線舗装打ち替え工事の請負契約を一般競争入札の結果、株式会社島村工業上尾支店と7,458万円で締結。	全会一致	原案可決
		第39号議案 工事請負契約の締結について（伊奈町立南中学校校舎トイレ等改修工事） ・町立南中学校校舎トイレ等改修工事の請負契約を一般競争入札の結果、株式会社東栄と1億6,830万円で締結。	全会一致	原案可決

(注) 全会一致でないものは下記のとおり。全会一致のものは議員ごとの賛否の表示は省略します。

賛否がわかれた議案の審議結果

○…賛成 ●…反対

議案名	議員名															結果		
		富井 篤弥	仲島 雄大	川内 雅人	木俣美千代	武藤 倫雄	高橋まゆみ	山野 智彦	大野 興一	栗原 恵子	戸張 光枝	藤原 義春	五味 雅美	上野 尚徳	大沢 淳		佐藤 弘一	青木 久男
第32号議案 令和6年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	-	○	原案可決
第34号議案 伊奈町放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	原案可決

(注) 議長「-」は議事進行を行うため、賛否表明はしません



討 論

第32号議案
反対討論 五味 雅美
マイナンバーカード普及のために、何の問題もない健康保険証を強引に廃止するのは無謀であり、多くの混乱をまねく。医療・健康保険関係の誰もが反対している。国策・国費とはいえ、税金を浪費するものだ。

賛成討論 藤原 義春
町内17の児童クラブを指定管理者でも管理

第34号議案
反対討論 富井 篤弥
児童クラブに指定管理者制度の導入を可能にする条例改正案について、①児童クラブに指定管理者制度はそぐわないこと、②児童クラブを含め、町は子ども育成や支援、教育に責任を持つべきという理由から反対する。

賛成討論 上野 尚徳
放課後児童クラブの運営に民間の力を活用し、より質の高いサービスを提供できる可能性を高めることが目的で望ましい。一方、改正と指定管理者導入決定は別のもの。議論し関係者の理解を得ることが必要不可欠。

委員会での質疑と答弁の一部を要約しました。

町長提出議案4件が審議されました。(6月7日開催)

所管事項

一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

総務課
建設課

志久駅 エレベーター工事

●令和6年度伊奈町一般会計補正予算

デジタル田園都市国家構想交付金

問 今回は52万円と少額の申請だが内容は。

答 コンビニ交付サービス導入事業で、税の証明書をコンビニで交付するシステム委託料。

志久駅バリアフリー化事業

問 エレベーターの設置計画は。

答 令和5年度に道路とエレベーター設置の基本調査。今年度、志



令和8年度にエレベーター供用開始予定の志久駅

久駅周辺道路の詳細設計業務委託、エレベーターの設置業務委託。

令和7年度に、道路とエレベーターの工事。

令和8年度にエレベーターの供用開始の予定。

問 当初予算に計上できなかった理由は。

答 設置場所の確定が1月末になったため。

問 コンビニで新たに導入事業

追加するものは。

答 追加は税証明書で、所得・(非)課税証明

書である。

●伊奈町手数料条例

問 窓口で交付すると200円、コンビニで交付すると150円。

近隣の市町も同じか。

答 上尾市は窓口交付、コンビニ交付200円、桶川市は窓口交付、コンビニ交付150円。

問 戸籍謄本、抄本もコンビニで取得できないか。

答 導入に向け検討。

●工事請負契約の締結(第2調整池浚渫工事)

問 泥の堆積状況は。

答 一番高いところが73cm。平均で41cm。

問 第1調整池のように、残土の受け入れ先に変更は出ないか。

答 浚渫土が汚泥なので中間処分場を持っていないと処分できないため、受け入れ先の変更はない。

問 水害被害がどのくらい軽減するか。

答 40年近く浚渫してないのでその分水害被害が軽減する。

問 入札の状況は。

答 入札参加業者は4者。応札業者は3者。落札率は94・46%。

問 昨年の第1調整池と今年の第2調整池の工事金額の違いは。

答 掘削作業の機械が一般的な機械でなく、強力吸引車のバキュームカーで汚泥を吸引する。汚泥の処分なので、第1調整池は1mあたり8400円、今回は1万3000円。



第2調整池浚渫工事始まる

常任委員会レポート

文教民生

町長提出議案6件が審議されました。(6月10日開催)

所管事項

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

放課後児童クラブに 指定管理者制度の導入検討



視察した町立小針北児童クラブ

●放課後児童クラブへの指定管理者導入

趣旨として、児童クラブの運営を将来的に指定管理者も使えるようにしたいのか、すぐに導入したいのか。

現在のところ、令和7年4月1日からの指定管理者制度の導入を考えている。

導入前に、保護者と支援員と町で、信頼関係を築くことができるのか。

令和5年6月に、保護者にアンケート調査を実施した。その結果、土曜日や長期休暇時の昼食の提供、行事・イベントの充実、学習支援の充実などの要望が多かった。その一つ

の解決策として、指定管理者の導入もあると保護者に説明をした。また、現場の支援員、職員にも指定管理者の説明を行い、導入のスケジュール、指定管理の期間、勤務の内容、給与について、意見をもらっている。

現体制で、ニーズに応えられないのか。

様々なニーズを考えると、指定管理を導入して、そのノウハウを活用した方が有効と考える。

指定管理者の導入が早急すぎないか。

支援員の協力なしでは、この事業は成り立たないので、今後も意見交換していく。

支援員は引き続き雇用されるのか。

引き続き勤務を希望する支援員を雇用する事項を仕様書の中に盛り込んでいきたい。

指定管理料を含め

仕様書の事前説明を。公表前に委員に説明する。

予防接種実施事業

事業の内容は。

新型コロナウイルスワクチンの令和6年秋冬の定期接種化だ。

5類に変わり、接種についての費用は。

接種費1万5300円のうち、自己負担分は3千300円、残りを国と町で負担する。

校内教育支援センター 支援員配置事業

センターの役割は。

登校はできるが、教室に入れないような生徒の学校内の居場所、落ち着ける場所として機能させている。

配置場所、人数は。

伊奈中学校に設置している校内教育支援センター「和み」に1人の会計年度任用職員を配置する。

一般質問

そこが聞きたい



15人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問いただします。6月定例会では、15人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。7ページから14ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、図書館にある会議録および、伊奈町議会ホームページの会議録や録画でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
7	上野尚徳	●大変革期。学校は、部活動は、どのように移り変わっていくのか
7	栗原恵子	●災害における町長の危機管理について ●災害協定について ●災害時における物資搬送等について ●伊奈町制施行記念公園の環境整備と安心安全な公園づくりについて
8	青木久男	●原市沼川の調節池上の池について ●4月からの第9期介護保険事業計画について
8	木俣美千代	●中学生に国際交流の経験を ●寄附によるベンチや公園遊具などの設置を ●子育てと仕事の両立支援を ●認知症予防と理解を深める
9	川内雅人	●町営スポーツ施設に関して ●中学校の部活動について
9	大沢 淳	●児童クラブへの指定管理者制度の導入 ●ごみ集積所の設置、運用・管理
10	山野智彦	●町の「空き家、空き地」の軒数や特定空家等への指定等の現状について ●「空き家、空き地」の対策と今後の課題対応について ●町長選挙での他県からの立候補者の実態や目的について
10	富井篤弥	●ヤングケアラー、若者ケアラーの課題解決に向けて ●防災機能とともに、楽しめる調整池の整備を
11	仲島雄大	●町にとって最も重要な行政資源である職員が学び続ける事ができる教育研修制度について ●若手職員の退職者数増加等を踏まえた若手職員成長支援について
11	五味雅美	●小針中学校の設備改善を ●交通安全対策推進を
12	戸張光枝	●ごみの減量化のため使用済み紙おむつの資源化と各保育所や町内事業所等への生ごみ処理容器等導入促進を ●商店街活性化のためにデジタル化対応推進と地域通貨のさらなる利便性向上のためにデジタル地域通貨導入を ●アピアランスケアとAYA世代のがん患者の終末期の看取り支援は
12	大野興一	●改定された農業戦略マスタープランについて ●視覚障がい者の同行援護について
13	武藤倫雄	●町立小中学校児童生徒の情報漏洩リスクについて ●令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の変更について ●期日前投票をしやすい環境整備について
13	藤原義春	●伊奈町の地震と耐震シェルター等補助事業について ●介護の人材不足への対応について ●綾瀬川の維持管理について
14	高橋まゆみ	●行政区の現状と課題について ●上尾伊奈ごみ広域処理施設整備に関する隣接地や道路整備を含めた全体像について

生き抜く力と「愛郷心」を
育む教育に投資を



うえの なおのり
上野 尚徳 議員

新学習指導要領

問 何が変わったのか。
答 問題意識等を持ち自ら解決、グループワーク等で学びあう、自分の考えを深め表現する学びを進めていく。

問 この手法を苦手とする子供にどのようにフォローしていくのか。
答 一人一人に寄り添い、指導方法等を柔軟に、言葉かけ等も子に応じた指導を展開する。

問 教員が定時に帰るためには、部活動は週4日で20分、80分、35分(×2日)しかできないという案があるがこのようになるのか。
答 想定される。
問 部活動は続けていくのか。
答 地域クラブへの移行へ、段階的に変化していくと捉えている。

問 地域移行後、指導員の謝礼や施設使用の優遇等に支援できるか。
答 検討を進めていく。

問 地域の諸団体等に資金面のサポートを促すよう取り組めないか。
答 協力依頼やクラウドファンディングの活用など財源確保に努め、子供の能力を大きく花開かせるためしっかり取り組んでいきたい。

問 地域移行後、指導員の謝礼や施設使用の優遇等に支援できるか。
答 検討を進めていく。



お金の心配をすることなく、好きな部活動をめいっぱいやらせてあげたい

伊奈町制施行記念公園の環境整備



くりばら けいこ
栗原 恵子 議員

問 老朽化した和式トイレを洋式トイレへ。
答 トイレ洋式化は、公園利用者の利便性向上や衛生面において必要と考える。給排水設備他の改修で対応可能か確認し検討する。

問 改修はいつ頃になるか。
答 改修が可能かどうかを判断する為、数ヶ月の期間が必要である。
災害における町長の危機管理について

問 改修はいつ頃になるか。
答 改修が可能かどうかを判断する為、数ヶ月の期間が必要である。
災害における町長の危機管理について
問 どのようなことを最重要事項にしているか。
答 町民4万5千人の



誰もが利用しやすいトイレへの改修に向けて

問 その4箇所の公園で何世帯くらいの応急仮設住宅を確保できるのか。また、応急仮設住宅に入れない世帯への対応は。
答 1戸あたりの面積を60平方メートルとし、合計542戸の応急仮設住宅の建設戸数を想定、対応できない場合は県営や公営住宅、民間住宅を検討する。

原市沼川の調節池について



あおき ひさお
青木 久男 議員

問 当初の計画からどう変わってきたか。
答 貯留目的は変更なしだが、調節池の構造は横越流方式で計画し、その後平成27年に自然環境保全や事業費削減を理由としてオリフィス形式に変更したが、

近年の降雨状況を踏まえ令和5年に元の方式に戻し現在に至っている。

問 この4月には地域住民に説明会が開かれたが、過去にはいつ開催されたか。
答 平成23年度に実施



境橋から西方を望んだ「上の池」予定地
現状一部が写真のように、よそからの浚渫残土の仮置き場となっているが



録画 ↓

したが、それ以前になると記録が残っていないので不明だ。

問 進捗状況及び完成年度はいつか。
答 掘削容量ベースでは約51・4%進んだが、完成年度は未買収地があることから完成目標年次は見通せない。

問 未買収地の筆数、地権者数はどうか。
答 未買収地の地権者数は町側と上尾市側で、あわせて9名、筆数については公表できない。

問 ここ数年で用地買収は進んでいるのか。
答 令和5年度と令和4年度では用地買収の実績はない。令和3年度は、3筆を買収した。

問 仮置き状態の盛土の出どころと行先は。
答 県によると鴨川の浚渫土で、搬送先は調整中とのことだ。

中学生に国際交流の経験を



きまた みちよ
木俣 美千代 議員

問 中学生の海外研修交流事業の見解は。
答 平成17年まで、伊奈町中学校生徒海外派遣事業を実施。成果もあるが課題もある。

問 海外の自治体と友好都市を結ぶ考えは。
答 双方で、友好都市として協定締結の機運が高まった際には積極的に働きかけていく。

問 寄附による公園遊具やベンチの設置を。
答 寄附による公園づくりを。
問 企業版ふるさと納税やネーミングライツ
答 企業版ふるさと納税やネーミングライツ



録画 ↓



障がいのある子もいない子も一緒に遊ぶことができるインクルーシブ遊具

「小1の壁」子育てと仕事の両立支援を
問 朝、児童を預かる事業の見解は。
答 「ファミリーサポート事業」を案内している。情報収集する。

認知症予防と理解を深める
問 ケア技法「ユマニチュード」講演会の開催を。
答 認知症の方のケアをする上で、非常に有用である。研究する。

問 ケア技法「ユマニチュード」講演会の開催を。
答 認知症の方のケアをする上で、非常に有用である。研究する。

問 ケア技法「ユマニチュード」講演会の開催を。
答 認知症の方のケアをする上で、非常に有用である。研究する。

問 ケア技法「ユマニチュード」講演会の開催を。
答 認知症の方のケアをする上で、非常に有用である。研究する。

町のスポーツ施設と部活動



かわうち まさと
川内 雅人 議員

町営スポーツ施設について

問 町営スポーツ施設の利用料金の設定基準は。

答 各施設の年間の維持費総額を、面積・利用可能時間で除して、時間当たりの基準単価

を設定している。

問 同じく減免基準は。

答 「子どもの体力向上」及び「障がい者及びその介護者、または障がい者団体が利用する場合」は、50%減免。
問 町制施行記念公園第一球場の排水改良は。



町制施行記念公園第一球場
前日の雨で、翌朝も水たまりが

児童クラブへの指定管理者制度の導入



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

問 目的は。

答 保護者にアンケートを実施した。その要望を解決すること。

問 直営では解決できないのか。

答 解決できることもある。
問 指定管理委託料は。

答 他の自治体を参考にして積算する。

問 現在の支援員の評価は。

答 おおむね期待どおり。
問 支援員の配置と雇用や処遇は。



ごみ集積所

支援員等は、蓄積された経験、保育技量及び熱意が高く、また、子ども達からも親しまれている方々。
引き続き勤務を希望する場合には、継続して勤務できるようにしたい。

問 問題が起きた際の町と指定管理者の責任や対応は。

答 指定管理者により管理されている施設内で運営上の大きな問題が発生した場合については、町に報告をいただき、町と指定管理者で協力して問題を解決する。

ゴミ集積所の管理

問 どのようなルールが規定されているのか。

答 集積所は10世帯に1か所の設置。利用者全員の責任で掃除等をしてもらう。

空き家等対策、特異な町長選立候補者



やまの ともひこ
山野 智彦 議員

転機の空き家等対策

問 町内の空き家数は、令和4年度の調査で232件あった。

答 問題点、課題は、管理不全となって周辺に悪影響をもたらす点等である。課題は、年々

空家が増加しており、所有者が管理対応をしない、相続で相続人が見つからない等で対応に苦慮している。

問 相続登記の義務化

答 義務化の内容は、令和6年4月1日より相続登記の申請が

義務化された。相続人は相続を知った日から3年以内に、相続登記の申請をしなければならなくなった。

問 登記の手間と費用の軽減要望、外国との対比も含めた対応を。

答 まずは空家等対策協議会で対策計画を策定し、その後必要に応じて検討していく。

町長選立候補者の履歴

問 他県からの伊奈町長選立候補者の状況は、

答 昨年9月以降、13市町村長選挙に立候補していた。

問 選挙費用の請求は、

答 町に請求提出済。各地ほぼ同様のポスターを使用している等、疑問が多い。厳格な審査をすべきだ。

答 選挙運動用自動車、ビラ、ポスターについて適正に審査を行う。



他県からの立候補もあった伊奈町長選挙。この立候補者は、伊奈町長選の前7か月間で13の首長選に立候補している

防災機能と共に調整池の活用を



とみい あつや
冨井 篤弥 議員

ヤングケアラー、若者ケアラーの支援促進を

問 若者ケアラーについて、町における現在の支援体制は。

答 まずはヤングケアラーへの相談支援体制の構築を進めている。ケアラー全体への支援

は、周知や相談体制等、これから検討を深める。

問 ヤングケアラーと若者ケアラーを包括的に支援する考えは。

答 若者ケアラーも含め、包括的にケアラーを支えていく。

問 町において、若者

ケアラーについての周知や相談先の広報を。

答 町ウェブサイトや広報等で発信していく。

問 調整池の活用を

答 町内の調整池を広場として活用することは、法令上は可能か。

問 町内の調整池について、機能を損なわず技術的に広場として改修可能な箇所はあるか。

答 広場として改修可能な調整池はない。

問 事業者から調整池の利活用の提案を受けた場合、検討するか。

答 調整池の上部利用について提案を受けた場合は、内容を精査の上で検討する。

問 調整池の説明看板が未設置の箇所があるが、設置の考えは。

答 看板については今後、設置していく。



中部第3号調整池
底地が草地であるのは、雨水を少しでも地下に浸透させるためです

職員教育研修制度と職員数等を
含めた課題について



なかしま ゆうた
仲島雄大 議員

問 町独自の職員研修計画を作成しているかを問う。

答 研修計画は作成していない。階層ごとに計画的に受講することになっていて。今後、それらを体系的にまとめた研修計画の策定に

ついて検討する。

問 人づくりの最上位の伊奈町人材育成基本方針が令和6年に至るまでの様に改訂されたのかを問う。

答 伊奈町人材育成基本方針は平成18年に策定し、これまで改訂を

行っていない。

問 伊奈町人口1万人当たりの普通会計職員数は58・82人。全国類似団体の平均は66・97人。人口等状況が近い杉戸町67・02人で約8人の差。これにより業務に追われ、日々に余裕が無くなる。退職等を考えることにも繋がっているが、この状況をどの様に捉えているか。

答 埼玉県内における類似団体と比較すると少ない職員数であると認識している。適切な住民サービスを提供できるように、適正な職員数を確保する。

問 では、町が考える適正な職員数を提示願う。

答 伊奈町職員定数条例の職員定数300人を目安に職員数を確保する。



人材育成、職員数不足等退職増加防止に課題が残る伊奈町

道路標示の補修等
交通安全対策の推進を



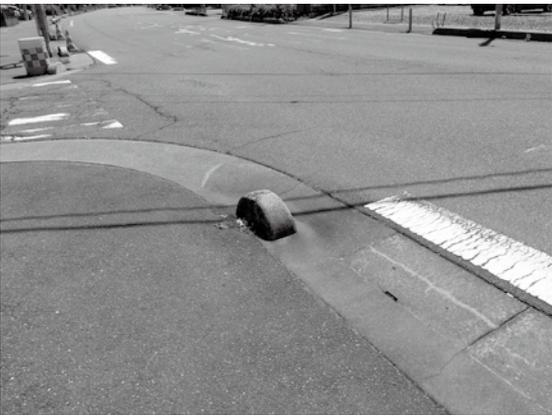
ごみ まさみ
五味雅美 議員

問 道路標示が消えかかっているとかが多い。警察設置と町設置とあるが、補修が追い付いていない。対応は。

答 現地確認の上、緊急度の高いものから対応している。

問 いなほ街道の細田山団地のところは横断する人が多く、地元の要望でもある横断歩道の設置は。

答 警察に要望する。
歩行者用信号機を
横断歩道等の設置を
問 県道「羽貫駅入口」交差点は小学生の通学



消えかかった道路標示は事故につながりかねない危険があります

路だが、近くに店も増え、交通量が増えている。歩行者用信号機の設置で、車が赤信号になる前に抜かれるようにもなる。設置は。

答 車両交通量、駅利用者、警察に要望する。
小針中学校の改善を
問 体育館の雨漏りや吹き込みが激しく、大雨の時には避難所にならない。損傷も多い。その他校舎の外壁、ドアの故障、排水溝の詰まりなどの対策を。教師が教育に専念できるように、整備の推進は。

答 体育館は大規模な修繕が必要な状況だが、授業を優先しながらの整備方法など多くの課題がある。その他の設備も含め、町内7校全体の改修の必要性を鑑み、対応する。

ごみの減量化のため
使用済み紙おむつの資源化を



とばりみつえ
戸張光枝 議員

問 広域の事業だからできること。使用済み紙おむつの資源化で温水プールの検討状況は。

答 組合および上尾市と協議する。

問 町内の公共施設で唯一導入されている給食センターの生ごみ処

理機の電気代は。ランニングコストは。

答 月の電気代は概ね5千円から6千円前後。維持管理費用は年間39万6千円。2年に1回バイオ菌交換費用が22万円。

問 土壌菌活用の生ご



医療用ウィッグ
がん治療に伴う外見の変化を補い
社会復帰の手助けを

み処理システム、トラッシュは半永久的に壊れずランニングコストもかからない。現行機械の買い替え時期は。

答 平成29年導入したもので概ね10年から12年後。更新時期に検討する。

商店街活性化のためデジタル地域通貨導入を

問 デジタル地域通貨導入により地域外の方も取り込み地域経済拡大となるが導入は。

答 調査する。

アピアランスケアとAYA世代のがん患者の終末期の看取り支援は

問 アピアランスケア助成事業の展開は。

答 早期に事業化できるように関係機関と調整していく。

問 AYA世代のがん患者の在宅療養支援は。

答 研究していく。

改定農業戦略マスタープランは



おおのこういち
大野興一 議員

問 畑地の指定変更は。下限面積は撤廃されたが、農地を取得する際は、必要な要件を満たす条件がある。指定変更は容易ではない。

問 6次産業化の進捗状況と今後の展望は。

答 女性農業者グループ

畑地の指定変更は。畑地の指定変更は。下限面積は撤廃されたが、農地を取得する際は、必要な要件を満たす条件がある。指定変更は容易ではない。

問 6次産業化の進捗状況と今後の展望は。

答 女性農業者グループ



風にそよぐ植田の早苗

おおのこういち
大野興一 議員

問 認定農業者以外の支援は。

答 梨出荷組合や耕地管理組合等へ補助金交付等。個々の農業者の相談にも応じる。

問 農地の区画拡大、集約化の進捗状況は。

答 農地中間管理事業は羽貫、大針、小貝戸と、令和5年度は本区地区で実施。42・1haが集積集約化された。

問 食料自給率38%。米作の推進と展望は。

答 伊奈町産コメ応援プロジェクトは地元企業3社と協定、さらに1社と締結協議中。米粉の活用、ブロッコリーテーションを研究

視覚障がい者の同行援助

問 町では視覚障がい者の同行援助の支援は。

答 ニーズに応じて適切に紹介する。

児童の個人情報を守れ



武藤 倫雄 議員

問 児童の個人情報の提出を受けるとき、使用目的の明示はどうか。
答 できていない。今後速やかに対応する。

問 タブレット内の情報は授業支援ソフトの企業が取得する児童生徒の情報は何か。

答 ソフトの品質向上や企画開発のために学習時間や正答率、成果物等を取得している。
問 個人が特定できる状態での取得なのか。
答 特定できない状態で取得している。
問 卒業後の個人情報



事前の備えが子どもたちを守る

の取扱いはどうか。
答 ソフト内の電子データは卒業時に消去し、紙データは家庭への返却や破棄をしている。
問 県立高校入試の変更
答 令和9年度試験から変更となるが対応は。現在の中学一年生から内容が大きく変更される。全ての高校で面接が実施され、調査書の記載事項も変わるなどの変更である。対策や対応が必要と考えている。
問 南部に期日前投票所を
答 4月の町長選挙では南部地域の投票率は高く、期日前投票率は低い。投票ニーズはあるのに期日前の投票がしづらい環境といえる。
問 期日前投票所の設置を
答 設置に向けて検討していく。

伊奈町の地震



藤原 義春 議員

東京湾北部地震と茨城県南部地震
問 この二つの地震が70%の確率で伊奈町に襲ってくることを防災訓練などで周知すべきでは。
答 今後30年以内の発生確率が70%と想定さ

れるので、防災訓練等の様々な機会を捉えて周知する。
耐震シェルター等補助事業
問 この事業を予算に組み入れているが、その内容は。
答 耐震診断について

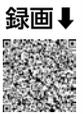


綾瀬川の河道の樹木

は、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された木造一戸建ての住宅（令和5年1月1日現在、2273棟）に対して、耐震診断費用の50%、上限5万円の補助金を交付する。耐震改修については、改修費用の23%、上限50万円の補助金を交付する。耐震シェルター設置に対しては、設置費用の50%、上限30万円の補助金を交付する。
綾瀬川の河道の樹木
問 この伐採や公園や道路の雑草の管理は。
答 伐採は、県総合治水事務所が優先度の高い箇所から行う。公園や町管理の道路の雑草管理は、町の景観に配慮しながら定期的な道路や公園の維持管理に努める。

互助の根幹となり得る

行政区の再構築を



たかはし
高橋 まゆみ 議員

問 区民とは行政区に居住している住民を示すものか。

答 行政区に居住している住民と自治会や区に加入している住民を示す等の考え方がある。
問 加入率が年々減少している状況について

どう分析しているか。

答 住民の高齢化により班長などの役員を務められないなどのケースや、ライフスタイルの多様性による地域住民同士のつながりの希薄化などによるものと分析している。



不均衡にみえる23の行政区割り
(出典：伊奈町防災マップ)

見守り活動の人手不足

問 旗振りボランティアの実施箇所や人数の把握をしているか。

答 各区の自主防犯組織から提出される報告書により、一回当たり参加人数や活動区域等を把握している。

災害対応能力を高める
問 町総合防災訓練への参加は各区で生かされているか。

答 参加する中で得た知識・経験について各区へ持ち帰り、互助の意識の醸成と取り組みに生かされるものと捉えている。

上尾伊奈ごみ広域処理施設

問 町民全体を対象とする説明会の開催は。

答 環境影響評価に関する説明会については今年の秋ごろに実施する予定。

会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査しています。

部活の地域移行・マイナンバーカード利用促進

＊
視察日 令和6年3月26日・27日
視察地 富山県上市町・立山町
会 派 新政伊奈・颯政会・日本維新の会

上市中学校部活動改革では、地域の受け皿となるクラブを設置し、部活動から移行可能な部については、平日を含めた全活動をクラブへ移行し、移行が難しい部は学校部活動として継続を行う。活動日は平日3日間、活動時間は午後5時までとした。これまで活動日数が多いと感じていた生徒からは勉強の時間が確保でき精神的に余裕が生まれたという意見が多かった。また、生徒及び保護者を対象としたアンケートの結果、ともに満足度は80%以上であった。

立山町では、後期高齢者等の運転免許不保持者に対し、マイナンバーカードと連携させた地域通貨「たてやまポイント」により376人に対しタクシーや町営バスの運賃助成を

行い、また図書カードについてもマイナンバーカードで利用出来るようシステムを導入した。北陸初となる「読書通帳機」の導入はとても画期的で大変参考になった。



貸出データを通帳に印字することのできる「読書通帳機」で、子どもたちの読書意欲を促進

第20回 新庁舎建設特別委員会

8月2日・総合センターで「公開プレゼンテーション」を開催。その直後の選定審査委員会で設計施工一括発注の優先交渉権者が選定されます。

6月議会以降の予定	
令和6年6月	技術提案書（見積書、VE案）の精査
令和6年7月5日	技術対話（提案書、VE案の確認。事業者と意思疎通を図る）→改善後技術提案書を再提出
令和6年8月2日 13時～15時30分	公開プレゼンテーション（総合センター大ホール）
同日 プレゼンテーション後	優先交渉権者の選定→近日中に仮契約
令和6年9月議会	請負契約の結果を議案上程
	可決後→本契約の締結
令和6年9月	基本設計 着手
令和7年度	実施設計
令和7年度後半	施工 開始
令和9年8月末	竣工、引き渡し
令和10年8月末まで	引っ越し、旧庁舎解体、外構工事→完了

事業者から提出された技術提案書の内容、見積書、VE案等の確認中

問 技術提案書の検討状況は。

答 様々な提案をもらっている。要求水準書等に対し水準を上回っているかなど町事務局とCM事業者で精査検討し、より良い事業者が選定できるよう取り組んでいる。その後、7月5日の技術対話で選定委員とすり合わせ、意見をもらう。

総合センター大ホールでの公開プレゼンテーション

問 公平なプレゼンテーションへの配慮は。

答 控室を大ホールがある3階ではなく2階に配置予定

定。ほかの企業に大ホールの内容が聞こえないようにする。また、最終的に提出された提案書に基づいてでしかプレゼンテーションはできない事としている。関係者が他社の内容を聞いたことが発覚した場合はペナルティがある旨も伝えている。

選定基準は技術評価点、地域貢献点、価格点

問 地域貢献点の位置づけ、ペナルティは。

答 見積書の工事総額における町内事業者への発注提案額の割合で配点。総額の20%以上の額を町内事業者に下請けに出すことで最高の配点となるので相当な額が町を循環することになる。

議会報告会を開催します

開催日 11月16日(土)
時間 午前10時～12時
場所 町役場全員協議会室 ほか

多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております!

※具体的な内容については、次回11月発行予定の議会だより205号でお知らせいたします。

主催：伊奈町議会
お問合せ：伊奈町議会事務局
電話番号：048(721)2111(代)



次回の定例会開会予定日は

9月3日(火)です



当日、議会事務局へお越しいただき、簡単な手続きでもなただも傍聴ができます。予約はいりません。

日程や詳細は、伊奈町議会のホームページをご覧ください。また、インターネットでも議会中継をご視聴いただけます。

議事を傍聴してみませんか



(ネット中継)

議会クイズ

クロスワードクイズ
第57弾です。

1	D	2	3	4	E
6	F	C			
			7	8	B
9		5			
10	G				11

タテのカギ

- 1 いくつかの線で分けた平面図形
- 2 漁獲量日本一は佐賀県
- 3 潮が満ちて海水面が最も高くなる現象
- 4 挑戦する。立ち向かっていく
- 5 バラ科の樹に実る。大きな種が特徴
- 6 花器の一種
- 7 町名は忠次に○○○
- 8 今
- 9 病気のふりをする
- 10 誕生日を○○○
- 11 咀嚼する大切な役割

問題

ABCDEFGHIJの順に並べた言葉は何でしょうか。
答えのヒント
夏の風物詩です！

応募方法

★はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、
〒362-8517
伊奈町中央四丁目355番地
議会広報委員会

までお送りください。
なお、本誌へのご意見やご感想などありましたら、あわせてお寄せください。

☆締切 8月31日(当日消印まで有効)

正解者の中から抽選で10名の方にエコ手袋を差し上げます。

☆正解と当選者の発表は次号の議会だよりに掲載します。

☆今号より二次元コードからも応募ができます。



↑ スマホ用

☆パソコンからの応募

伊奈町電子申請・届出サービスから「議会クイズ」を選択。

前回の答えと当選者

答え「バラサミット」
正解20名(応募21名)
当選者(順不同敬称略) 里方淳二(小室)、伊藤勉(内宿台)、伊藤利誠(大針)、丹羽ゆかり(小室)、市川輝子(小室)、林山充(西小針)、小田川良枝(小室)、永倉三千代(中央)、藤沼公子(小室)、小豆澤恵子(小室)



▲ローズちゃんの「エコ手袋」※色は選べません

表紙の写真ってなに?

「伊奈まつり」

夜空を鮮やかに彩る、大輪の花火。夏祭りの季節です。8月24日はみなさまお待ちかねの伊奈まつりです。
夏祭りは、一説によると害虫や台風、疫病を追い払うことを目的とされていたそうです。
みなさまに豊かな実りと健康な毎日が続きますように。
(町のフォトコンテスト応募作品から観光協会に提供いただきました)

読者の声

—一部掲載—

- ◇志久駅のエレベーターができる事を楽しみにしています。(80代)
- ◇表紙の鯉のぼりに元気をもらいました。(80代)
- ◇バラを一本買って帰ります。(70代)

編集後記

今号から、議会クイズやご意見、ご感想をネットから送ることができるようになりました！スマホやパソコンでお気軽にお寄せいただけますと幸いです。
また、今秋の議会報告会の日程が早くも決定いたしました。11月16日を予定しております。広聴のお時間も設けておりますので、ぜひぜひ、ご参加ください！
さて、芒種を過ぎ梅雨が迫る頃に綴ってお

◇読み易い紙面で、伊奈町の動きがよく見えます。(60代)

- ◇のらぼう菜が伊奈忠宥公奨励の伝統野菜だとは知りませんでした。心して味わいます。(80代)
- ◇クロスワード毎回来しみにしています。(50代)



りますが、既に夏を感じる機会が多いです。重ねて最近では、降り始めれば、夕立という風情ある表現では表せないゲリラ豪雨が頻発しております。
加速する気候変動により、暑さも一つの災害になりつつあります。熱中症対策を十分に、どうぞご自愛ください。(富井篤弥)

議会広報委員会

- 委員長 青木 久男
- 副委員長 高橋まゆみ
- 委員 富井 篤弥
- 委員 仲島 雄大
- 委員 川内 雅人
- 委員 木俣美千代
- 委員 山野 智彦
- 委員 大野 興一



読みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。

★議会だよりは再生紙を使用しています。



植物油インキを使用しています。



「伊奈町議会だより」もマチイロで配布中